

1万人のエコチェック事業

事業概要

県内約1万人の公衆衛生推進委員を対象に、家庭で消費されるエネルギーの削減運動を展開する事業で、平成22年度からスタートした。

内容は、9月の検針日までの約1ヵ月間、家庭で電気の省エネに取り組んだ後、前年同月の使用量と比較し、その効果を数値的に「見える化」する。今年度は、実践率50%を目指すとともに、広めるコース、深めるコースに分けて取り組んだ。

多くの推進委員の実践を促すため、エコチェックカードは、「エコチェック事業おたのしみ抽選会」の抽選券として活用した。



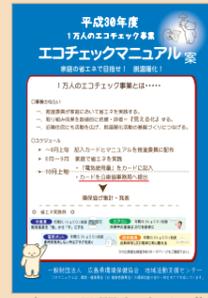
○エコチェック深めるコース(左)と基本・広めるコース(右)

事業の流れ

- 4月25日(火) 事務担当者会議(1万人のエコチェック事業実施要領配布)
- 7月31日(月) 申請〆切
(申請後) エコチェックカードと記載マニュアルを郵送にて配布
- (8月~9月) 各家庭で省エネを実践(電気・ガスの9月分検針票を確認)
- (9月下旬) エコチェックカードに電気・ガスの使用量、省エネ実践項目を記入
- 10月13日(金) エコチェックカードを各公衛協に提出〆切
- 10月17日~ 環保協がエコチェックカードを集計
- 12月1日(金) 第58回 広島県公衆衛生大会
(1万人のエコチェック事業お楽しみ抽選会の実施)

エコチェックカード記入マニュアル

エコチェックカードの記入方法について分かりやすく解説したマニュアルを配布。使用量のお知らせの見方や省エネ実践項目などを記載している。



(A3見開きサイズ)

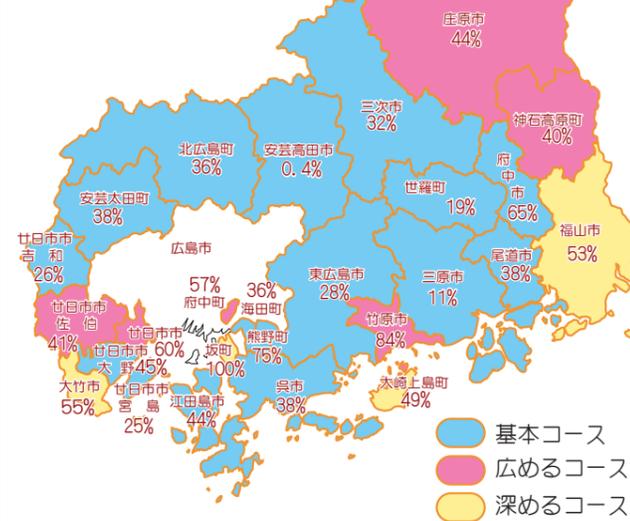
平成29年度の実績

申請者数・実践者数

広島県内公衆衛生推進委員(広島市除く) 9,147人のうち、
実践者数: 3,684人(実践率: 40.3%) 前年比↑0.3%

参加公衛協

26市町公衛協が参加



●基本コース
●広めるコース
●深めるコース

(注)実践率=市町推進委員数÷カードを提出した推進委員数

エコチェック事業集計報告

電気	平成29年度	平成28年度	平成27年度
実践率	40.3%	40.0%	36.3%
実践世帯数 ※有効回答数	3,192世帯	3,333世帯	3,193世帯
1世帯当たりの 平均使用量	約503kWh	約510kWh	約447kWh
1世帯当たりの 平均増減量	約17kWh減	約57kWh増	約49kWh減

※当月電気使用量、前年度電気使用量、給湯エネルギー、世帯人数、住居形態が判別可能なもので、明らかな記入間違いの無いもの

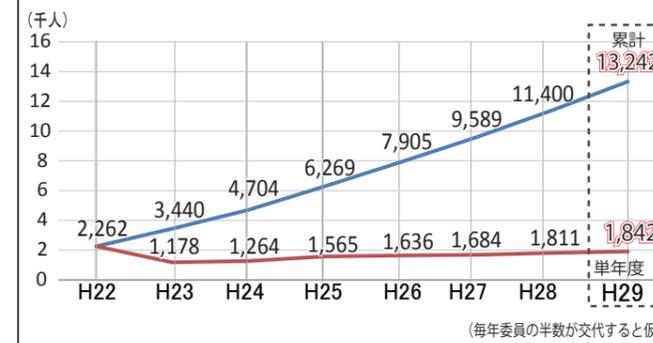
実践率ベスト3と実践率の上昇率ベスト3

公衛協活動をPRできる記念品を授与	
実践率	実践率の上昇率
第1位 坂町公衛協 (実践率: 100%)	廿日市市大野公衛協 (上昇率: 12.9%)
第2位 竹原市公衛協 (実践率: 76.1%)	廿日市市吉和公衛協 (上昇率: 8.7%)
第3位 熊野町公衛協 (実践率: 75.0%)	世羅町公衛協 (上昇率: 7.7%)

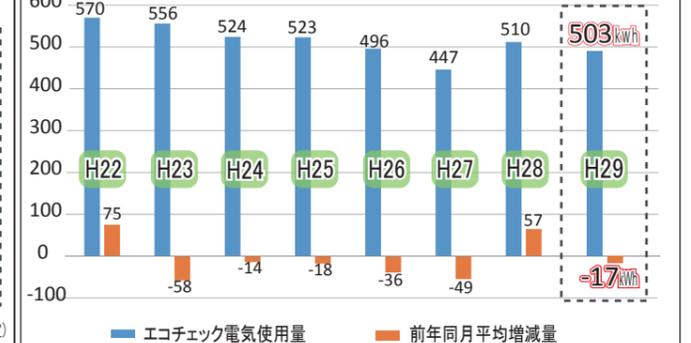
平成29年度の実績

- 今年度の実践率は40.3%。昨年から0.3%上昇し、毎年実践率が向上している。
実践率計算方法 実践率=推進委員のカード提出枚数÷推進委員数×100
- 電気使用料のお知らせを読める推進委員が13,242人に増加した。(2年に1回、半数の委員改選があると仮定)
- 今年度8月の電気使用料と前年同月と比較すると、省エネ努力の結果、世帯あたり17kWh(3%)の減少で、県内全体で37.4tのCO₂減少となった。また、今年の「猛暑日」は去年の1/3の5日で、日中のうだるような暑さは少なかったが、「熱帯夜」は42日で去年並みであり、省エネ努力に加え、日中が涼しかったことなどから、昨年に比べ省エネできたと言える。
- 有効回答データ3,194枚中、94.9%が戸建て住宅で、2人世帯の回答が最も多かった。

電気使用量のお知らせを読めるようになった推進委員数



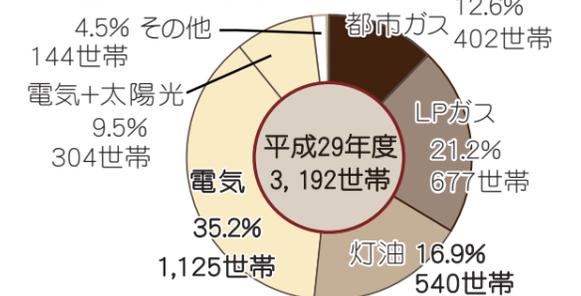
1世帯あたりの平均電気使用量の推移



平成29年9月分の電気使用量のまとめ

- 平成29年度の有効回答データ 3,192データ
当月電気使用量、前年度電気使用量、給湯エネルギー、世帯人数、住居形態が判別可能なもので、明らかな記入間違いの無いもの
- 戸建率 95.2%
- 全世帯平均電気使用量 503.0kWh
 - ・電気給湯の戸建て住宅の平均使用量 632.4kWh
 - ・電気給湯以外の戸建て住宅の平均使用量 419.5kWh

給湯エネルギー割合



お楽しみ抽選会結果及び実践率 BEST 3・実践率上昇率 BEST3 結果

マツダスタジアム観戦チケット (10試合分 外野指定6人/試合)

- 大崎上島町 ●廿日市市 ●廿日市市大野
- 廿日市市吉和 ●東広島市 ●府中市(3)
- 呉市(2)

※府中市(1)・呉市(1)はチケット売り切れのため代替品

消費電力測定器具 (10個)

- 熊野町 ●坂町 ●江田島市 ●廿日市市 ●北広島町
- 東広島市 ●福山市(2) ●府中市 ●呉市

特産品セット

- 府中町 ●大竹市
- 竹原市 ●江田島市
- 廿日市市(2) ●廿日市市大野(3)
- 廿日市市佐伯 ●廿日市市吉和
- 廿日市市宮島 ●安芸太田町
- 安芸高田市 ●東広島市(2)
- 府中市(2) ●福山市(5)
- 神石高原町 ●三次市
- 呉市(4)

実践率・実践率の上昇率BEST3

- 実践率 BEST3**
- ブランケット: 坂町
 - タオル: 竹原市
 - タオル: 熊野町
- 実践率上昇率 BEST3**
- ボールペン: 廿日市市大野
 - タオル: 廿日市市吉和
 - ボールペン: 世羅町

成果

- 全公衛協が実践(目標: 実践率50%)
実践率は40.3%(実践者数: 3,684人)で、昨年度より0.3ポイント増加。
- 広めるコース・深めるコースに10公衛協が参加
広めるコース: 府中町・竹原市・廿日市市・廿日市市佐伯・神石高原町・庄原市
深めるコース: 坂町・大崎上島町・大竹市・福山市

平成30年度に向けて

- 目標値は実践率50%を目指す
- 実践率50%を超えた市町公衛協に、広めるコース・深めるコースを提案する
- 実践率向上を目指して、カードの提出方法に料金受取人払いを継続するほか、マニュアルの表現を改善する。